

日本医療検査科学会 科学技術委員会
2025 年度第 2 回委員会議事録

1. 日時：2025 年 10 月 4 日（土）10:30～11:40
2. 場所：パシフィコ横浜 第 511, 512 号室
現地および ZOOM によるオンライン参加
3. 出席者（敬称略）：清宮、山内恵、汐谷、神山、田中、川崎、山本裕、角田、小島、
和田、山口、黄江、高崎、今井、金沢、福田、関田、末吉、山下、
緒方、藤田、新井、姫野、三宅、戸枝、中川、飯島、元中、松原、
雪松、比嘉、中野、藤村、斎藤、山内露
桑、大澤、山本慶、藤本、外園
欠席者（敬称略）：青柳、菊地、倉村、大久保、片岡
4. 配布資料：
資料 1：2025 年度第 1 回委員会 議事録
資料 2：第 57 回大会 第 26 回科学技術セミナーについて
資料 3：第 24 集マニュアル進捗状況について
資料 4：2026 年度活動計画
5. 報告：
 - (1) 第 1 回委員会議事録について（資料 1）
事前配布のもと、特に修正なく承認された。
 - (2) 第 57 回大会 第 26 回科学技術セミナーについて（資料 2）
各講師から内容についてそれぞれ説明があった。これまで、アンケートの URL の案内を紙媒体で行っていたが、今後はこれも無くす方針。基本的に大会 HP 上のアンケート（URL：2次元バーコード）から回答する方針へ。回収率の低下が懸念されるので、アナウンスをしっかりと行うこととする。セミナーテキストについて、これまでマニュアルとは別途、セミナー用ファイルをダウンロードできる形式で運用してきたが、講演者の負担等を鑑みて今回は作成しない運用を試みる。アンケートで意見等が出れば再検討を行う。
6. 議事
 - (1) 第 24 集マニュアルの進捗状況について（資料 3）
山本委員より全体の構成含め進捗状況の報告があった。特に、中小病院の検査室などで活用できるアドバイスサービスを中心とした冊子を目指す。
冒頭 アドバイスサービスの価値などを松尾先生に依頼予定。
後半 事例集：委員からの事例などがあれば提示いただきたい。

事例に関しては、統括の山本委員に大江委員、和田委員、山口委員、藤村委員の4名を加えて編纂し、来年3月頃の発刊を目指す。年内12月から1月くらいまでに事例を収集したい（ページ数は1,2枚程度）

(2)第25集および今後のマニュアルの企画について

- ・精度管理企画は下記いずれか検討中

①検体採取前から分析・報告まで

②分析に特化？

桑先生より、検査室内の管理試料を用いた「精度管理」に加え、患者データを管理する手法を用いた「質管理」への展開が必要な旨ご指摘があった。

※来年度のシンポジウムで精度管理を企画 ⇒マニュアル作成に繋げる

- ・それ以降はセミナー開催⇒同内容をマニュアル化の順で実施する。

(3)今後の委員会活動について

- ・2026年第1回科学技術委員会：4/25 九州大学医学部・百年講堂
- ・2026年第2回科学技術委員会：10/8-10のいずれか、神戸国際会議場
- ・技術セミナー：検査データの活用：10/8-10のいずれか、神戸国際会議場
- ・発刊予定：第25集マニュアル（検査データの活用）：2026年3月
- ・発刊予定：第26集マニュアル（精度管理）：2027年3月

(4)委員の交代について

- ・植田悟先生（シスメックス）⇒ 福田洋一先生
- ・他の先生方は来年3月まで変更なし予定

※変更希望の際は事務局（外園）まで連絡ください。

(5)その他

- ・事務局管理のQUOカードについて：1000円カード保存中。委員以外の発表者に提供する
- ・テキストの原稿料は現状では難しい（一冊500万円位かかり、基本的に赤字）
- ・来年度（神戸）は清宮が大会長
- ・山下計太先生が2027年度春季セミナーの例会長